

学校支援として校内研修をサポートしています

先生方にとってよりよい研修会等となるように、センターの社会教育主事や指導主事が講師として学校にお伺いさせていただきます。以下の表を御確認の上、各担当部へ直接電話でお申込みください。日時、研修内容など御要望に応じられるよう、出来る限り努めて参ります。テーマに無い研修に関しても承れることもありますので、まずはぜひ御相談ください。

社会教育に関する研修支援

生涯学習部 TEL 028-665-7206

※ 下記テーマにない生涯学習・社会教育に関する内容についても対応可能です。お気軽に御相談ください。

No.	テーマ	目安時間	主な内容
1	人権学習	60～120分	参加体験型の学習を通して、人権問題への理解を深めるとともに、人権を尊重できる意識を高めます。保護者会等での実施も可能です。
2	学校・家庭・地域の連携	60～120分	学校運営協議会等で行われる、教職員と地域の方や保護者を交えた「熟議」の進め方を、模擬体験を通して学びます。
3	保護者対象の学習会	60～120分	保護者会（学年・学級懇談会）・PTA（活動）等における保護者同士の話し合い活動を充実するため、親学習プログラムの活用方法を中心に、ファシリテーター（進行役）の役割や進め方について学びます。

学習指導等に関する研修支援

研究調査部 TEL 028-665-7204

※ 実施目安時間は60～120分程度で相談に応じます。下記テーマにない研修に関しても、お気軽に御相談ください。

No.	テーマ	対象	内容
1	各教科等の授業研究	小・中・高	学校課題の解決に向けて実施する各教科等の授業研究会をサポートします。授業参観や授業研究会を通して、授業づくりのポイントや授業改善につながる視点を先生方と一緒に検討していきます。指導案検討の段階から一緒に取り組むことも可能です。
2	各教科等における探究的な学習を取り入れた指導の充実	高	各教科・科目等において「探究的な学習」を効果的に取り入れた授業デザインや授業展開の方法について、演習を通して理解を深めます。また、ルーブリックの作成と活用方法についても学びます。
3	情報教育・ICT活用	小・中・高	情報モラル教育やプログラミング教育、その他、各種クラウドサービスの効果的な活用やショートカットキーの活用、業務の効率化などについて、学校の実態に合わせて学びます。
4	児童生徒の発達を支える指導	小・中・高	すべての児童生徒を対象とした発達支持的生徒指導に着目し、生徒指導と学習指導を一体的に推進する基本的な考え方や手立てについて学びます。学級（HR）経営や特別活動、本県の学業指導との関連なども、ニーズに合わせて学びます。
5	マネジメント	小・中・高	組織マネジメントやカリキュラム・マネジメントの考え方を踏まえ、各学校の教育目標、ミッション、ポリシー等の実現に向け、教育活動の評価と改善策などを考えます。
6	危機管理	小・中	学校における具体的な危機の場面を設定し、リスクの洗い出し、クロスロード、シミュレーションを通して、組織全体の危機管理意識を高めます。

教育相談・特別支援教育に関する研修支援

教育相談部 TEL 028-665-7210
7211

No.	テーマ	目安時間	主な内容
1	いじめの理解と対応	50～90分	いじめ防止対策推進法に基づくいじめの認知、いじめの早期発見、早期対応、いじめの未然防止、組織的な対応等について考えます。
2	不登校の理解と対応	50～90分	不登校の考え方、不登校対策、児童生徒への支援、保護者との連携、組織的対応等について考えます。
3	通常の学級における特別支援教育	50～90分	通常の学級における指導・支援の基本的な考え方や特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的な指導・支援、合理的配慮の提供等について学びます。
4	Q-Uの活用	50～120分	Q-Uの各シートの見方と活用のポイントについて学びます。（※ Q-Uの結果を用いた事例検討等を実施することも可能です。）
5	自立活動の指導の在り方	50～90分	自立活動の指導の基本的な考え方、個々の児童生徒の実態把握から適切な指導目標や具体的な指導内容を設定するためのポイント等について考えます。（※ 自立活動に関する授業研究会に参加することも可能です。）
6	事例検討	60～90分	児童生徒への指導・支援の方針や具体策を考えます。
7	その他		上記の内容以外にも、カウンセリングマインドやアサーショントレーニング等、学校の要望に応じて実施することも可能です。

幼児教育と小学校教育との接続に関する研修支援

幼児教育部 TEL 028-665-7215

No.	テーマ	目安時間	主な内容
1	架け橋期の教育の充実	60～90分	スタートカリキュラムや生活科の充実のために大切にしたいこと等を学び、架け橋期（5歳児から1年生の2年間）の教育の在り方について考えます。
2	子どもの育ちと学びをつなぐために	60～90分	幼児期の指導要録や口頭による情報交換の趣旨と内容を踏まえ、小学校において一人一人が自分らしさを発揮しながら学ぶための指導の在り方について考えます。